

# 第2回 世田谷版気候若者会議

令和7年12月7日

世田谷区

# 世田谷版気候若者会議 について

---

# 世田谷版気候若者会議について（目的）

2

世田谷区では、「2050年までに**温室効果ガスの排出を実質ゼロ**」にすることを目標に、様々な環境施策を推進しているところです。



この目標の達成に向け、2050年に**社会の中心的存在**となる皆様を対象に、環境に関する意識や課題を把握することを目的としています。



たくさんの意見やお話を聞かせて  
ください！

# 世田谷版気候若者会議について（運営）

3

世田谷区気候若者会議 開催

世田谷区 環境政策課

世田谷区の環境をより良くするための課です




世田谷区気候若者会議 会議運営

株式会社ナレッジリーン

たくさんの市区町村のより良い「環境」を創り出すための支援を行っています。

# 全体プログラム（全3回）

本日を含め、全3回の開催を予定しています。

回	プログラム
第1回 令和7年11月16日	 マイアクションを考える
第2回 令和7年12月7日	 「わたした <u>ち</u> 」が気候変動を止めるためにはどうしたらいいか考える
第3回 令和8年1月25日	 わたしたちの <u>未来</u> のための気候変動対策を考える

# 本日のスケジュール

プログラム	内 容
開会	・ 開会あいさつ
基調講演	環境問題への取り組み方 講師：株式会社ピリカ 朝緑 高太 氏
インプットトーク	・ 環境アンケート（モニター）の結果報告 ・ 第1回世田谷版気候若者会議の振り返り
グループ討議	①「気候アクションの担い手」とはどんな人？ ② 自分たちが「気候アクションの担い手」になるためには？ ③「気候アクションの担い手」になるために必要な支援は？
閉会	・ 閉会あいさつ （アンケート記入、謝礼（QUOカード）お渡し）

# 基調講演

環境問題への取り組み方

講師：株式会社ピリカ 朝緑 高太 氏

---

# インプットトーク

環境アンケート（モニター）の結果報告  
第1回世田谷版気候若者会議の振り返り

---



# 環境アンケート（モニター）の実施について <sup>8</sup>

## ●調査の目的

- ・環境に関する意識や課題を把握するとともに、「世田谷版気候若者会議」の実施にあたり、会議のテーマや議論すべき事項について考えるため、アンケート調査を実施しました。

## ●調査の概要

調査対象	【一般アンケート】 世田谷区に15歳～29歳の方3,000人
	【モニターアンケート】 世田谷区内の高校、大学に通学している人、 福祉関係団体(就労支援センター等)の関係者
調査期間	令和7年9月
回収数	【一般アンケート】 267件
	【モニターアンケート】 49件

環境アンケートご回答いただき、ありがとうございました。

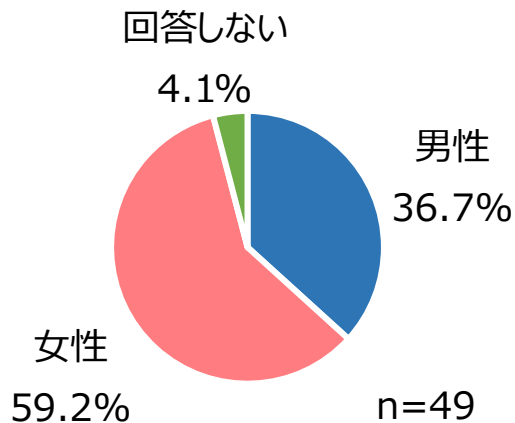


※【一般アンケート】は、第1回会議の資料をご参照ください。

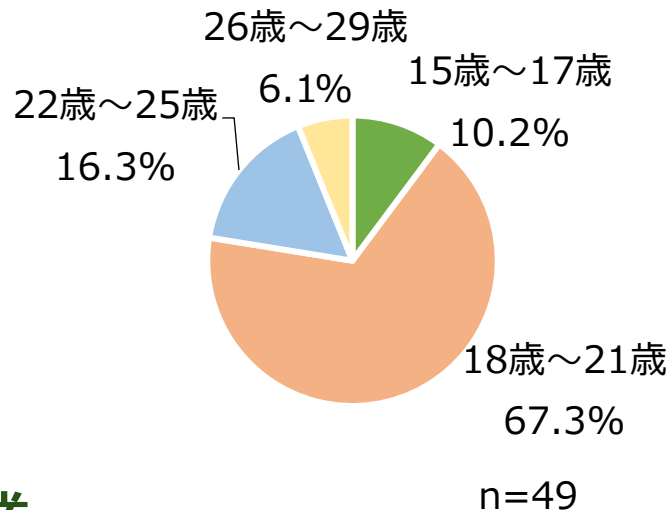
# 結果：属性

9

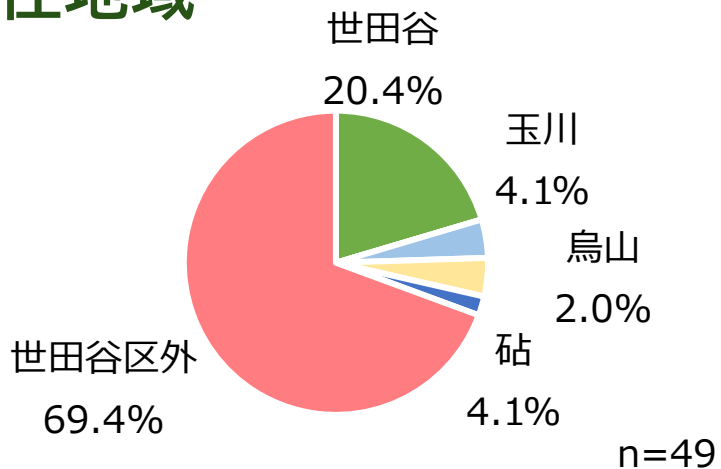
## ●性別



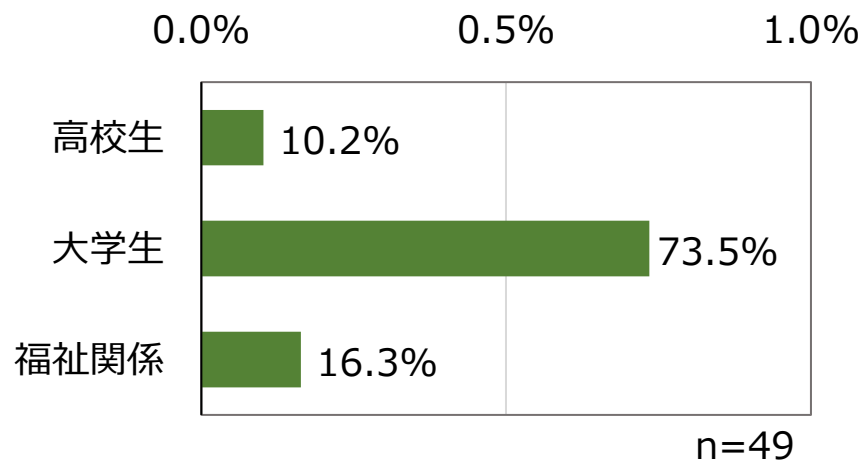
## ●年齢



## ●居住地域

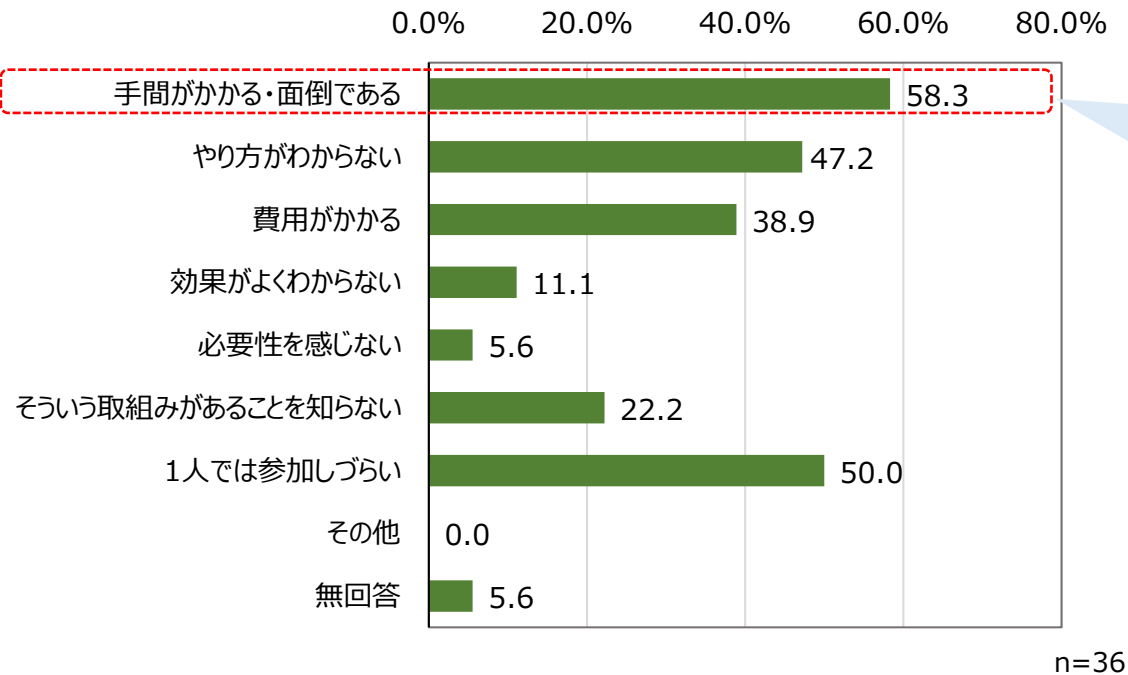


## ●職業



# 結果：①環境に関する意識

## ●環境活動に取り組んでいない理由

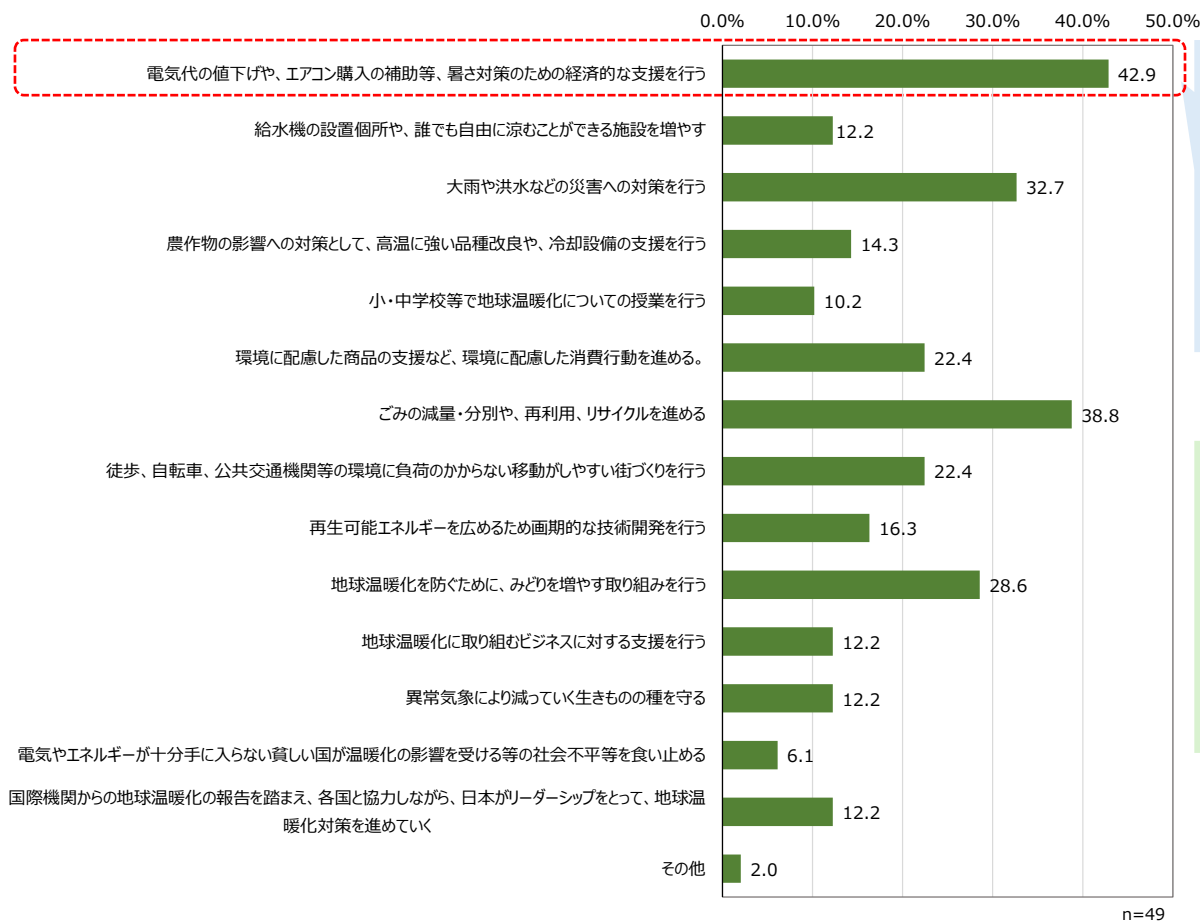


「手間がかかる・面倒である」が約6割で最も高い

「高校生」は、「一人で参加しづらい」が多いものの、「福祉関係」は「やり方がわからない」を回答した人も多い

# 結果：②これからの環境に関する意識

## ●地球温暖化対策のために、すぐに実施すべきこと (複数回答)

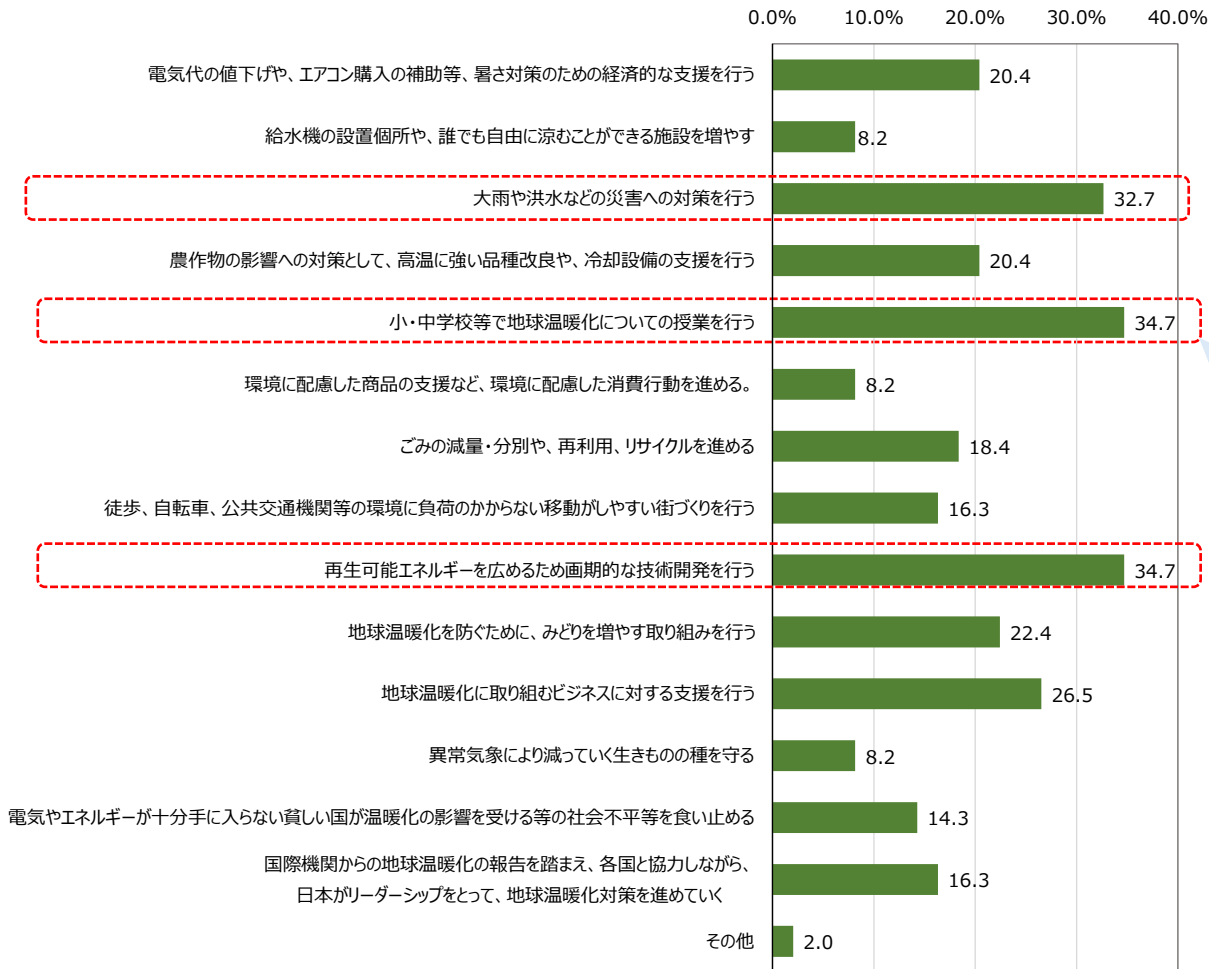


「電気代の値下げや、エアコン購入の補助等、暑さ対策のための経済的な支援を行う」が約4割で最も高い

大学生は「ごみ分別」に関する項目が多いものの、「福祉関係」は、「経済的な支援」が多い

# 結果：②これからの環境に関する意識

## ●地球温暖化対策のために、長期的な視点で実施するべきこと (複数回答)



「災害対策」「小・中学校の授業」「再生可能エネルギーを広げるための技術開発」が3割

「福祉関係」は、「大雨や洪水などの災害への対策を行う」を回答した人も多い

## ●気候変動に関連した世田谷区の取組

### ・「熱中症予防シート」の配付

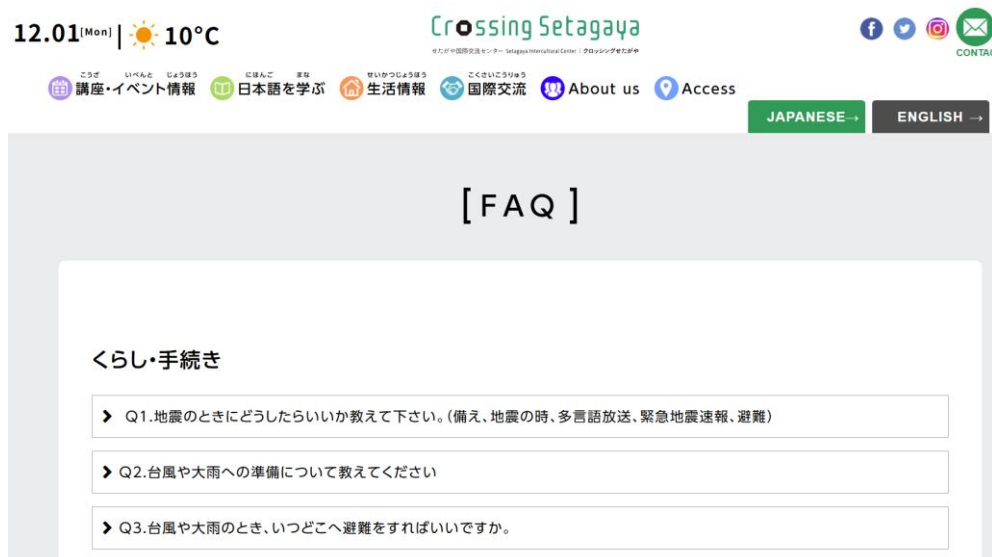


・液晶温度計付きで、高温の時は警告が出る

#### <配付対象者及び配付方法>

・75歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、孤立のおそれのある高齢者に対し、あんしんすこやかセンター職員、区職員等が自宅へ訪問する際等に配付している。

## ●気候変動に関連した世田谷区の取組 ・せたがや国際交流センターの情報発信



・世田谷区に住む外国人住民に対し、「ごみ分別」「大雨・災害発生時の避難」など、環境の分野に関する情報の発信も行っている。

# 第1回世田谷版気候若者会議振り返り

## 【マイアクション宣言】

- 個人の「マイアクション宣言」について、カテゴリー分けを行いました。
- その結果、「マイボトルを持参する」「安いものを大量に買いすぎない」など、モノの選び方を挙げた人が多くみられました。

分 類	件数	特徴・傾向 等
①モノの選び方	19	● 消費スタイルの見直しが“入口行動”になっている
②ライフスタイル	6	● 睡眠・スマホ時間などライフスタイル改善とセットの省エネ
③学び・イベント	6	● 自然体験・ボランティア・情報収集など「場」への参加
④食生活	5	● 毎日の暮らしレベルで取り組みやすい
⑤移動	2	● 自転車移動へシフト
合 計	38	



# 第1回世田谷版気候若者会議振り返り

16

## 【マイアクションの代表例】

### ①モノの選び方

- ・マイボトルを持参する
- ・マイ箸、マイボトルを持ち歩く
- ・安いものを大量に買いすぎない
- ・必要なものだけ購入する
- ・古着の購入

### ②ライフスタイル

- ・エアコンは真冬まで使用しない／家の中では厚着等に対応する
- ・スマホの使用時間・夜更かししている時間を減らす

# 第1回世田谷版気候若者会議振り返り

17

## ③学び・イベント

- ・環境イベントへ参加する
- ・イベントに参加してみる／正しい情報に意識して触れる

## ④食生活

- ・フードロス削減のために、賞味期限が近い商品を購入
- ・日常で捨ててしまう食材も含めて料理する

## ⑤移動

- ・車やバスをあまり使わず、自転車で移動する

# 第1回世田谷版気候若者会議振り返り

18

○「マイアクション宣言」が多く出されたように、15歳～29歳世代は、すでに「自分でできること(my)」をたくさん持っていることが考えられます。



○本日の第2回では、これらのマイアクションをもとにして、「マイアクションに取り組む人の特徴」を見出し、「どうすればそうになれるか?」「どんなサポートが必要か?」などを皆さんに考えていただきます。

# グループ討議

「わたしたち」が気候変動を止める  
ためにはどうしたらいいか考える

---

## 「わたしたち」が気候変動を止めるには どうしたらいいかを考える

3

「気候アクションの担い手」になるために必要な支援は？

行動変容をサポートする具体的なアイデアを考える

2

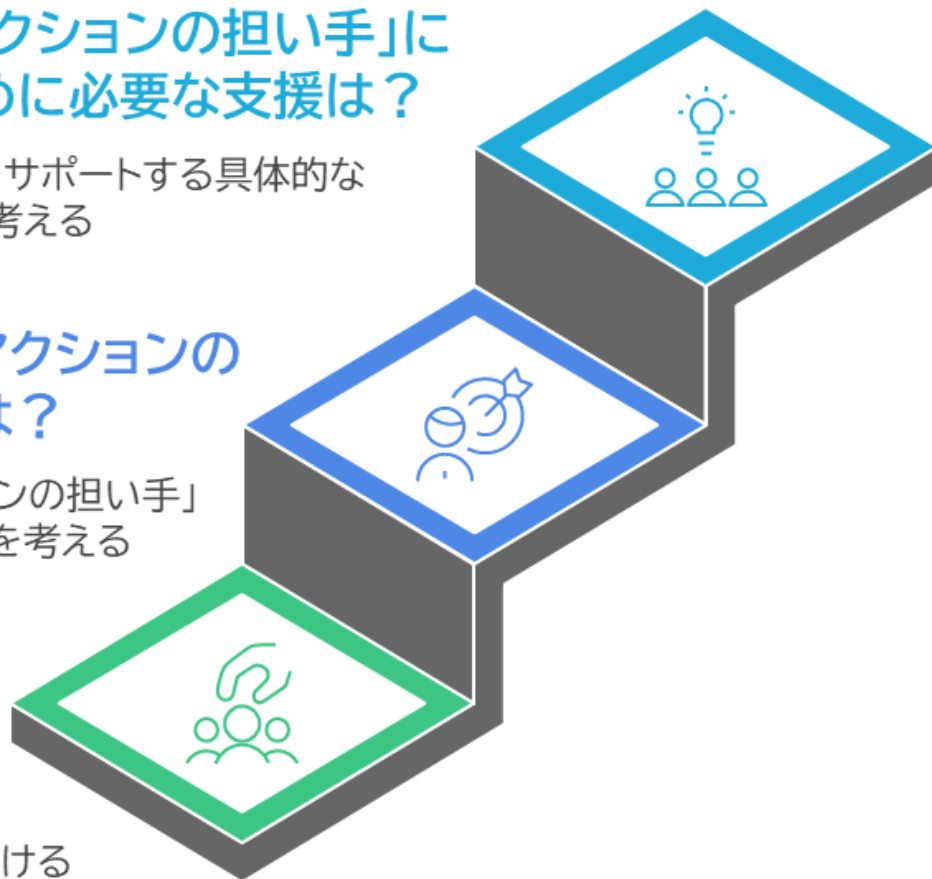
自分たちが「気候アクションの担い手」になるには？

自分たちが「気候アクションの担い手」になるために必要なことを考える

1

「気候アクションの担い手」とはどんな人？

「マイアクション」から、自分自身の中の「気候アクションの担い手」らしさを見つける



# 話し合うときのエチケット

## 1. 対話を楽しみましょう

- ・ その場に出てくる話と対話を楽しんでください。

## 2. 話をよく聞きましょう

- ・ 自分が話すばかりでなく、ほかの人の話に耳を傾けましょう。

## 3. 「テーマ」に集中しましょう

- ・ 限られた時間を有効に使うために、今話すべき内容に集中しましょう。

## 4. 否定しないで受け止めましょう

- ・ 自分の考えとは反対の意見も出てくるかもしれません。  
多様な意見を受け入れ、新たな発見を楽しみましょう。

## 5. たくさん書きましょう

- ・ 紙に書いたことだけが残ります。たくさん書いてください。
- ・ 模造紙に書き込んでいただいても構いません。

# グループ討議

ステップ1：

マイアクションから「気候アクションの担い手」となる要素を考える

【グループ討議の流れ】

1：個人でマイアクションを振り返る

できた／できなかった／こうすればもっとできるといった考えを  
各マイアクションシートの下部に結果と工夫点を書き出す。

2：各自のマイアクション発表とインタビュー形式でディスカッション  
インタビュアー：マイアクションを発表する人の左隣にいる人が、マイアクションにつ  
いての説明を聞く

聞き手：マイアクションについての話を聞き、いいなと思ったところ、なるほどと  
思ったところを付せんに書く

3：付箋を「マイアクション」の周りに貼るかたちで模造紙にまとめ、  
“気候アクションの担い手”となる要素を考える

# グループ討議

ステップ2：

自分たちが「気候アクションの担い手」になるために  
必要なことを考える

【グループ討議の流れ】

1: 5年後くらいの自分が、環境のことを自分ごとにして動いている人だったと したら、どんなふうになりたいか、どのような役割を担いたいかをキーワードで付せんに書きだす。

2： 1 で書いた付箋の内容を共有する

3： 「なりたい姿」に近づくために、どんなことが必要考え、付箋に書き出す。

【自分】 【周り（学校、勤務先等）】 【社会・区・企業】に分け、模造紙にまとめる

4： 模造紙の内容をまとめる／グルーピング化する



## ステップ3： 支援策のアイデア出し

### 【グループ討議の流れ】

- 1：ステップ2の模造紙を見ながら、「こんな支援策があったらいいな」というアイデアを、付箋に書き出す。
- 2：付箋を共有し、模造紙にまとめる／グルーピング化する。
- 3：2の中から、「これはぜひ提案したい」というものを  
1～2個選ぶ
- 4：アイデアシートの『交差性チェック』の表で、各観点について  
○／△／×をつける
- 5：特に紹介したい支援策アイデアを1～2つ選ぶ
- 6：全体で共有する

閉 会

---

# アンケート協力をお願い

下記の二次元コードを読み取り、アンケートの回答をお願いします。



アンケートの回答後、「謝礼受領書」を記入し、受領書と引き換えに、ファシリテーターより、QUOカードをお受け取りください。

第2回 世田谷版気候若者会議に  
お越しいただき、ありがとうございました。